

# 地方分権改革に関する研修会への講師派遣（愛媛県庁）

【日 時】 平成29年4月12日(水) 13:00～16:30【講義・演習】

【場 所】 愛媛県中予地方局 6階第2会議室

【参加者】 愛媛県内の市町職員及び県庁職員 27名

【講 師】

内閣府地方分権改革推進室

参事官補佐 高野 敏則、主査 門井 勇樹、調査員 西 亮太（埼玉県より派遣）  
調査員 永田 有沙（松山市より派遣）、調査員 土井 諒真（京都府より派遣）

【概 要】

○研修会では「地方分権改革の経緯と成果」「提案募集方式のポイント」と題して、地方分権改革・提案募集方式についてひと通り担当から説明し、「地方公共団体の提案に対する3つの支援ツール」として分権室で運用している「提案募集方式データベース」や「地方分権改革・提案募集方式ハンドブック」、「地方分権改革事例集」の具体的な活用方法等も紹介しながら、講演を行った。

○その後「平成29年提案募集に向けた取組について」というテーマでグループディスカッションを行った。国の制度全般について、参加者各自が日頃の業務で実感したことのある課題や問題意識を班内で共有することに始まり、最終的には提案募集によって課題が解決された場合に期待される効果や住民サービスの向上などの視点から、グループで深めていただいた議論の内容をご発表いただいた。

○研修後のアンケートからは、「他自治体の支障事例を知ることができたのは有益だった」「日々の業務の中で支障事例を見つけられるように注意していきたい」「支援ツールの周知などにより庁内の意識啓発に取り組んでいきたい」などの前向きなコメントが多く寄せられた（アンケート結果は右のグラフをご覧ください）。



内閣府の担当者による講義の様子 ↑  
グループディスカッションの様子 →



## <受講者アンケート結果>

Q. 本研修を職場同僚に勧めたい Q. 研修プログラム全体に満足した

